

人生は長い長い自己紹介。知らない誰かの誤報ニュースを横目に見る日々。劇的ではない"僕ら"は、死や痛みを存在意義のように嘯し立てていく。

今作は、わたしの死にたがりの部分へするっと入り混んできた。

生きるのに必死で、"人間"を演じるだけだったあのころ。思い付きと勢いに突き動かされ一晩で書き上げた『22』が、今作の主題歌として起用されること。どこか「生きていれば良いことあるよ」と言われているようです。

遠く吠えて花火をあげる

この作品を通して、あなたの"生きる"に出逢えますように。

kasa. rui ogawa

まずは新たな公演"遠く吠えて花火をあげる"に臨む SUPERNOVA の皆様、出演者の皆様に大いなる拍手を贈らせていただきます。

今夏に kasa.が"ペロニカ"にて主題歌を務めさせて頂いた舞台"雨降る正午、風吹けば"は、kasa.と、私個人のこれからの大きな衝撃を与えてくれました。あの夏を経て、再び私達の作品で関われる事を誇りに思います。

近い将来に本公演を観覧したあなたが、ありったけの諸行無常に少しでも耐えられるような存在強度を獲得できる事、

そして本公演の成功を祈願いたします。

kasa.もまた、その役目を果たすことができたなら、こんなに嬉しいことはないのです。

kasa. yamashita